

第8回

ビジネスの担い手 銀行

執筆・講師 宮坂恵美子



学習のねらい

これから4回にわたって、経済活動をより円滑にするビジネスの担い手について学習します。今回は銀行です。まず、銀行などの金融業者の役割と種類について見てみましょう。次に銀行の三大業務のうち、預金業務と貸出業務とは、どのような業務なのかを見ていきます。そしてもう一つの三大業務である為替業務についても踏まえたくうえで、これまでの銀行とはまったく異なる新しい銀行を紹介します。

調べておこう・覚えておこう

銀行／為替／金融機関／三大業務／預金

※空欄 を「調べてみよう・覚えておこう」の語句で完成させましょう。

👉 Point ① 銀行の役割と種類

社会には「資金を必要とする者（資金需要者）」と「資金に余裕のある者（資金供給者）」がいます。この両者の間に立って、資金が円滑に流れるように橋渡しすることを「金融」といいます。金融をビジネスとして行うことを「金融業」といいます。

金融業を行う代表的なものとして「銀行」「証券会社」「保険会社」があり、これらを総称して ① といいます。

金融機関のうち、私たちに最も身近なのが「銀行」です。コンビニなどにあるATMは、提携している多数の銀行とつながっています。

金融業を行う代表的な金融機関として ② 、証券会社、保険会社があります。

②は番組出題問題です。

👉 Point ② 銀行のビジネス ～預金と貸出～

銀行は「預金」「貸出」「為替」などの業務を行っています。この「預金」「貸出」「為替」を「銀行の ③ 」といいます。

銀行が資金に余裕のある個人や企業から資金を預かるのが「預金業務」です。銀行は預金者に対して「利息」を支払います。預金には、いつでも引き出しができる普通預金や当座預金、一定期間は原則として引き出すことのできない定期預金などがあります。

一方、銀行が資金を必要としている個人や企業に資金を貸し出すのが「貸出業務」です。借

り手は銀行に「利息」を支払います。銀行は貸し出す資金の大部分を預金として集めた資金によってまかっています。貸し出しの「利率」は、預金の利率より高く設定されているので、この利息の差、「利ざや」が銀行のおもな収益となります。

「 ④ 業務」「貸出業務」「為替業務」を銀行の三大業務といいます。

④は番組出題問題です。

Point ③ 銀行のビジネス ～為替～

企業と企業の間、企業と個人間の資金のやりとりを仲介する業務を ⑤ といいます。

⑤は番組出題問題です。

銀行の三大業務の一つ、「^{かわせ}為替」とは、企業と企業の間、または企業と個人間の資金のやりとりを仲介することです。銀行の為替業務には、「銀行振込」や「口座振替」があります。

「銀行振込」は、相手の預金口座に送金する方法で、銀行の窓口かATMで行います。銀行振込には手数料がかかります。「口座振替」は、電気料金などの公共料金やクレジットカード代金などの自動引き落としです。手数料はかかりません。今日では、銀行の為替業務はATMやネットバンキングを利用して行われることが多くなっています。

番組では最近登場した「新しい銀行」を紹介します。私たちが見慣れた銀行とはまるで違うこの銀行は、『待たせない』『書かせない』『押させない』を実現しているといいます。

これまで窓口と呼ばれるまで順番待ちをしていた受付は、客がタブレットで要件を入力するだけになって待たされることがありません。これまで手間がかかっていた書類の記入も必要ありません。ATMでは取り扱えない大きな金額もキャッシュカードがあれば、端末上でやりとりすることができます。そして書類に印鑑を押す必要もありません。指紋などの生体認証を使って本人の確認をするので印鑑がいらないのです。

これまで午後3時までだった窓口業務も午後5時まで営業しています。これは、その日の入金・出金を確認する「勘定集計業務」をすべて自動化したので、より長く営業できるようになったそうです。

客のニーズに対応し、最新の技術を活用した、このような新しい銀行も登場しているんですね。

解答欄

① _____ ② _____ ③ _____

④ _____ ⑤ _____

①金融機関 ②銀行 ③三大業務 ④預金 ⑤為替

このページの文書・画像の無断転載及び商用利用を固く禁じます。